



ところが二人は全くおどろいてしまいました。あれと思ったのはみんなダイヤモンドパスやサファイアだったのです。おお、その雨がどんなにきらびやかなまぶしいものだったでしょう。

雨の向こうにはお日さまが、うすい緑色のくまを取って、まっ白に光っていました。が、そのこちらで宝石の雨はあらゆる小さな虹をあげました。金剛石がはげしくぶっつかり合っては青い燐光を起こしました。

「虹の絵具皿」宮沢賢治

